

特集

“時代のキーワード”で読み解く

超高齢社会 多死時代とは？

今年、団塊の世代の第一陣、1947年生まれの方々が「65歳」を迎えます。

先例のない「超高齢社会」「多死時代」がいよいよ本格化していきます。

医療・福祉だけでなく、社会全体の問題として、いまやこの言葉を耳にしない日はないほどです。

しかし、一口に「超高齢社会」「多死時代」とはいつても、それはいったいどんな時代なのか？

その影響が直接に押し寄せる在宅・地域ケアの現場には、

何が起こり、どのようなことが課題になるのでしょうか？

社会学の立場から、また、実践家の経験から、これからの時代の輪郭を概観し、

現場に起こりつつある課題について見直してみようという特集です。

現場で働くみなさんは、これらの予兆をすでに肌で感じられていることと思います。

目の前の課題に向き合い、これからも地域での暮らしを支えていくために、

明日からの実践と、自分自身の考え方を培うヒントのひとつにしたいだけなら幸いです。